

ヤングケアラー早期発見への取組みについて

1. 経緯

令和4年度にヤングケアラーと思われる子どもを早期に発見し、支援につなげる仕組みづくりの検討を目的として「多摩市ヤングケアラーに関する実態調査」を小学校5・6年、中学校1～3年、高校生世代に実施した。今年度は昨年度ヤングケアラー実態調査の対象外（令和4年度は4年生）であった小学校5年生に対して、通常、学校で行っているアンケートにヤングケアラーに関する項目を追加し、早期発見に取り組んでいることを報告する。

2. 今年度の取組み状況

【実施方法】

- ① 1月～2月にかけて各学校で実施する「冬季休業日開けの児童調査」または「いじめに関するアンケート」等にヤングケアラーに関する質問1項目を追加。
追記質問：「家事、きょうだいや親など家族の世話、言葉を通訳するなど、お世話が必要な家族がいるため、眠る時間が足りない・遊べない・宿題をする時間がない、ということはありませんか。」
- ② 「はい」または無回答であった児童について、学校で聞き取り実施。

【該当児童への対応】

学校からのアンケート結果報告をもとに子ども家庭支援センターから該当児童がいる学校へ連絡し、対応方法を検討。

3. 次年度以降の取組み予定

追加して中学生に向けての早期発見の取組みについても教育委員会と検討中。